

- 問1 日本銀行が「銀行の銀行」と呼ばれる理由として、最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 全国の民間銀行の経営方針や役員人事を直接指示するから。 | 2. 国の中央銀行として、紙幣を独占的に発行するから。 | 3. 民間金融機関に対して預金の受け入れや資金の貸し付けを行うから。 | 4. 一般の個人や企業に対して資金の貸し付けや口座開設を行うから。 |
|--------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
- 問2 銀行などの金融機関を介した資金の融通において、借入金に対して支払われる「利子」の性質を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 企業が直接投資家から資金を集めるために発行する、権利を示した証券書 | 2. 市場における需要と供給のバランスによってのみ決定される、商品の販売価格 | 3. 資金の借入額や期間に応じて、資金を利用する対価として支払われる費用 | 4. 株式会社が利益を上げた際に、出資している株主に対して分配されるお金 |
|--------------------------------------|--|--------------------------------------|--------------------------------------|
- 問3 日本銀行の業務に関する説明として、民間の銀行（普通銀行）の業務とは異なる、中央銀行としての正しい役割はどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| 1. 個人の預金者に対して、預けられた金額に応じた利息を支払う。 | 2. 企業の将来性を審査し、新しい事業を始めるための資金を直接融資する。 | 3. 企業間の不当な価格操作が行われないよう、市場を監視する。 | 4. 一般の銀行を対象として、資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。 |
|----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
- 問4 企業が事業資金を調達する方法のうち、「間接金融」に分類されるものの説明として、最も適切なものはどれか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 企業がクラウドファンディングを利用して、不特定多数から寄付を募る。 | 2. 企業が株式を発行し、投資家から直接資金を募る。 | 3. 企業が銀行から融資を受けることで、必要な資金を確保する。 | 4. 企業が社債を発行し、購入を希望する個人から資金を借り入れる。 |
|--------------------------------------|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
- 問5 ある銀行において、預金者が受け取る利息の割合が年二パーセント、銀行が企業に資金を貸し出す際の利息の割合が年八パーセントに設定されているとします。このとき、銀行が主な収益として得ているものはどれですか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|--------------------------|--------------------------------|-----------------------------|
| 1. 預金者が口座を維持するために銀行へ支払う管理費用 | 2. 日本銀行から景気対策として支給される補助金 | 3. 企業が株式を発行した際に、投資家から徴収する販売手数料 | 4. 企業から受け取る利息と、預金者に支払う利息の差額 |
|-----------------------------|--------------------------|--------------------------------|-----------------------------|
- 問6 日本銀行が「銀行の銀行」としての役割を果たす具体的な仕組みについて、最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 税金の納付を受け付けたり、公共事業の費用を政府に代わって支払ったりする仕組み。 | 2. 日本で唯一の紙幣（日本銀行券）を発行し、市場に流通する貨幣の量を調整する仕組み。 | 3. 個人や企業から直接預金を集め、それを原資として住宅ローンなどの貸し出しを行う仕組み。 | 4. 一般の銀行の資金が不足した際に融資を行い、金融システムの混乱や連鎖的な倒産を防ぐ仕組み。 |
|--|---|---|---|
- 問7 不景気の際、日本銀行は景気を刺激するために特定の金融政策を行います。市場に出回る通貨量を増やし、民間銀行の貸し出し金利を下げることを目的とした日本銀行の動きとして、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 民間銀行に国債を売却し、代金を回収することで市場の通貨量を減らす。 | 2. 民間銀行から国債を買い取り、代金を支払うことで市場の通貨量を増やす。 | 3. 民間銀行から国債を買い取り、代金を支払うことで市場の金利を上昇させる。 | 4. 民間銀行に国債を売却し、代金を回収することで市場の金利を低下させる。 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
- 問8 日本銀行がインフレーションを抑制するために金利を上げる「金融引き締め」を行った場合、その影響として予測される社会の動きについて述べたものとして正しいものはどれですか。 (2024年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 住宅ローンの金利が上昇するため、住宅を購入しようとする個人が減り、不動産市場の過熱が収まる。 | 2. 企業の利息負担が軽くなるため、新しい工場や機械を導入する設備投資が活発になり、雇用が増加する。 | 3. 銀行の預金金利が下がるため、人々は貯蓄をせずに消費を増やすようになり、景気がさらに良くなる。 | 4. 円の価値が相対的に低くなるため、輸出企業の国際競争力が高まり、日本からの輸出額が大幅に増加する。 |
|---|--|---|---|
- 問9 景気が過熱し、物価が上がり続けるインフレーションの懸念があるとき、日本銀行は景気を落ち着かせるための金融政策を行います。この際、日本銀行が実施する「売りオペレーション」の内容と、それによって期待される市場の変化として正しいものはどれですか。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場に出回る通貨量を減らすことで、景気を抑制する。 | 2. 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場に出回る通貨量を増やすことで、消費を活性化させる。 | 3. 日本銀行が民間銀行から国債を買い、市場に出回る通貨量を減らすことで、物価の下落を防ぐ。 | 4. 日本銀行が民間銀行から国債を買い、市場に出回る通貨量を増やすことで、景気を刺激する。 |
|--|--|--|---|
- 問10 現代の経済における資金の調達方法のうち、「直接金融」の仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| 1. 企業が株式や社債を発行し、投資家から直接資金を調達する。 | 2. 日本銀行が市中の金融機関と国債などを売買し、通貨量を調整する。 | 3. 政府が国債を発行し、公共事業を行うための資金を調達する。 | 4. 銀行などの金融機関が、預金者から預かった資金を企業に貸し出す。 |
|---------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
- 問11 2024年7月に新しい紙幣が発行されるなど、日本の通貨制度は経済状況に合わせて運用されています。日本銀行が不景気の際に「買いオペレーション」を実施し、市場の通貨量を増やした場合、その後の経済への影響として最も適切なものはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 政府の借金である国債がすべてなくなり、国の財政赤字が即座に解消される。 | 2. 通貨の価値が極端に高まり、物価が継続的に下落するデフレーションが加速する。 | 3. 銀行の金利が低下し、企業が設備投資のための資金を借りやすくなる。 | 4. 銀行の金利が上昇し、個人の消費や住宅ローンの利用が抑制される。 |
|--|--|-------------------------------------|------------------------------------|
- 問12 企業が生産活動を拡大し、得意分野の製品を他国に出荷するなどの事業を行う際、多額の資金が必要になります。このとき、企業が自ら株式や社債を発行し、家計などの投資家から直接、資金を調達する仕組みを何といいますか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 公定歩合 | 2. 間接金融 | 3. 直接金融 | 4. 預金準備率 |
|---------|---------|---------|----------|
- 問13 不景気の際、日本銀行は景気を刺激するために市場を流通する通貨の量を調整する「公開市場操作」を行います。このとき、日本銀行が一般の金融機関を相手に行う操作として正しいものはどれですか。 (2024年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 日本銀行が持っている国債を一般の金融機関に売り、市場の通貨量を減らす。 | 2. 一般の金融機関が持っている国債を買い取り、市場の通貨量を増やす。 | 3. 日本銀行が持っている国債を一般の金融機関に売り、市場の通貨量を増やす。 | 4. 一般の金融機関が持っている国債を買い取り、市場の通貨量を減らす。 |
|--|-------------------------------------|--|-------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 民間金融機関に対して預金の受け入れや資金の貸し付けを行うから。	日本銀行は一般の個人や企業とは取引を行わず、市中銀行などの民間金融機関を対象に資金の貸し付けや預金の受け入れを行います。このため「銀行の銀行」と呼ばれています。
問2	答え 3 資金の借入額や期間に応じて、資金を利用する対価として支払われる費用	銀行が預金者から集めた資金を必要とする人や企業に貸し出す仕組みを間接金融と呼びます。この仕組みの中で、借り手は金融機関に対して借入金に応じた利子を支払い、金融機関はその一部を預金者へ利息として支払うことで、社会全体の資金循環を支えています。
問3	答え 4 一般の銀行を対象として、資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。	日本銀行は、私たち個人や一般の企業が直接口座を作って取引をすることはできません。日本銀行は民間の金融機関との間で資金をやり取りするため、「銀行の銀行」と呼ばれます。個人の預金に対する利息の支払いや一般企業への融資は、民間の普通銀行が行う業務です。また、価格操作の監視は公正取引委員会が担当しています。
問4	答え 3 企業が銀行から融資を受けることで、必要な資金を確保する。	間接金融は、銀行などの金融機関が仲介者となって資金を融通する仕組みを指します。一方、株式や社債を発行して市場から直接資金を調達する方法は「直接金融」と呼ばれ、間接金融とは区別されます。
問5	答え 4 企業から受け取る利息と、預金者に支払う利息の差額	間接金融を中心とする銀行の主な収益源は、預金金利と貸出金利の差（利ざや）です。預金者には低い利息を支払い、企業などにはそれよりも高い利息で貸し出すことで、その差額を自社の利益や経費に充てています。提示された数値の例では、六パーセント分が銀行の収益の基礎となります。
問6	答え 4 一般の銀行の資金が不足した際に融資を行い、金融システムの混乱や連鎖的な倒産を防ぐ仕組み。	民間銀行は、預金者からの払い戻しが重なるなどして一時的に手元の資金が不足することがあります。このような際、日本銀行が「最後の貸し手」として民間銀行に資金を供給することで、決済が滞るのを防ぎ、預金者が安心して銀行を利用できる環境を維持しています。これに対して、政府の資金を扱うのは「政府の銀行」としての役割です。
問7	答え 2 民間銀行から国債を買い取り、代金を支払うことで市場の通貨量を増やす。	日本銀行が民間銀行から国債を買い取る「買いオペレーション」が行われると、その代金が民間銀行に支払われるため、市場を流通する通貨量が増加します。資金供給量が増えることでお金を借りる際の利息、つまり金利が低下し、企業や個人が資金を借りやすくなるため、景気を向上させる効果が期待されます。
問8	答え 1 住宅ローンの金利が上昇するため、住宅を購入しようとする個人が減り、不動産市場の過熱が収まる。	金利が上昇すると、お金を借りる際の手数料（利子）が高くなります。これにより、大きな買い物である住宅の購入を抑える人が増えたり、企業が投資を縮小したりするため、景気が冷え込む方向に働きます。これは、上がりすぎた物価（インフレーション）を落ち着かせるための意図的な動きです。金利が上がれば通常、預金金利は上昇し、通貨（円）の価値は高まる傾向にあります。
問9	答え 1 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場に出回る通貨量を減らすことで、景気を抑制する。	好景気でインフレーションが懸念される場合、日本銀行は保有する国債を民間銀行に売却します。これを売りオペレーションと呼びます。民間銀行が国債を購入する代金として日本銀行にお金を支払うため、市場に出回る通貨量が減少し、結果として企業の投資や個人の消費が抑えられ、物価の上昇が抑制されます。
問10	答え 1 企業が株式や社債を発行し、投資家から直接資金を調達する。	直接金融は、資金の受け手である企業と、資金の出し手である投資家が、証券市場を介して直接結びつく仕組みです。選択肢にある銀行を通じた貸し出しは「間接金融」、日本銀行による操作は「金融政策（公開市場操作）」に該当し、それぞれ目的や仕組みが異なります。
問11	答え 3 銀行の金利が低下し、企業が設備投資のための資金を借りやすくなる。	買いオペレーションによって市場に流通する通貨量が増えると、お金の希少価値が下がるため、銀行の貸出金利などは低下する傾向にあります。金利が下がると、企業は新しい工場を建てたり機械を買ったりするための資金を借りやすくなり、個人の消費も刺激されるため、景気を回復させる効果が期待されます。
問12	答え 3 直接金融	企業が資金を調達する方法には、大きく分けて2つの形態があります。証券市場などを通じて、企業が自ら発行した株式や社債を投資家に買ってもらうことで資金を得る方法が直接金融です。これに対し、銀行などの金融機関が仲介役となり、家計から預かったお金を企業に貸し出す方法は間接金融と呼ばれます。
問13	答え 2 一般の金融機関が持っている国債を買い取り、市場の通貨量を増やす。	不景気のときには、世の中に出回るお金の量を増やして経済を活発にする必要があります。日本銀行が民間の銀行（一般の金融機関）から国債を買い入れることで、その代金として日本銀行から民間の銀行へ資金が渡ります。これにより、銀行が企業や個人に貸し出せるお金が増え、消費や投資が促進されます。